

# ハウレン草栽培暦

万来屋物産株式会社  
担当  
TEL

播種機	収穫期	播種機と収穫期										品種例			
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		6月		
8月中旬～10月上旬	9月下旬～11月下旬														パワーアップ・プログレス
10月上旬～3月中旬	11月上旬～4月中旬														クロノス(被覆栽培)
10月上旬～3月中旬	11月上旬～4月中旬														アグレッシブ(被覆栽培)
2～3月	4月上旬～5月上旬														プレグレス
4月	5月上旬～5月下旬														トリトン

## 1. 土作り

- ・10a当たり、**堆肥を300kg** もしくは、**自然の輪を200kg**施し、深耕しましょう。
- ・生わらをすき込む場合は、播種の**2週間前までに石灰窒素を3袋～4袋**散布して腐熟促進しましょう。
- ・土壌pHは、**6.5が一番良く**、6.0以下になると生育が悪くなるので注意しましょう。
- ・高畦(20～25cm)とし、播種後に排水溝を整備しましょう。



## 2. 土壌改良材施用例

堆肥300kg/10a もしくは、自然の輪200kg/10a 生わらをすき込む場合は、石灰窒素を60kg/10a パイタリー(苦土生石灰)	パイタリー施用量例 (10a当たり)			
	pH5.5前後	pH6.0前後	pH6.5前後	pH7.0前後
石灰窒素を使用する場合	100～120kg	60～80kg	20～60kg	20kg
石灰窒素を使用しない場合	100～160kg	80～140kg	60～120kg	40kg

☆土壌の状態がわからない場合は、土壌検査を行いましょ！

## 3. 元肥施用例

9月と2月以降の播種期		
商品名	施肥量(10a)	成分
自然の輪	200kg	発酵鶏フンペレット
もしくは、プロミネン	150kg	発酵大豆粕ペレット
野菜専用423(ホウ素入)	80～120kg	14-12-13
もしくは、コウノシマ444	80～120kg	14-14-14
ハイグリーン	30～45kg	微量要素肥料
ホスピタ	40kg	ハイグリーン+リン酸

10月～1月の播種期		
商品名	施肥量(10a)	成分
自然の輪	200kg	発酵鶏フンペレット
もしくは、プロミネン	150kg	発酵大豆粕ペレット
野菜専用423(ホウ素入)	80～120kg	14-12-13
もしくは、マイマイコート2100	100～120kg	ほうれん草用一発肥料
ハイグリーン	30～45kg	微量要素肥料
ホスピタ	40kg	ハイグリーン+リン酸

苦土欠乏が出る場合は、ハイグリーンを30～45kg/10a施肥してください。根張りをよくする場合は、ホスピタを40kg/10a施肥してください。

## 4. 播種準備

- ・9月の播種は、**1.8～3.5m幅**に畝立てを行う。10月以降の播種でも排水が悪い場合は、畝立てを行う。
- ・早播き、高温時には、浸種を行い、**土壌にある程度水分がある状態**で、播種してください。**乾燥時は、鎮圧**してください。
- ・**深さ1.5cm程度**で、**条間20～25cm**で、均等に条播きをしましょう。

播種ベルトの大きさ				種子の大きさ			
ごんべえ (1粒播種期)	PIR2.5-028	前31-後29	1コマ(2穴)	3.0cm	バラ種子 Mサイズ	3万粒/袋=3～4袋	
	"	前29-後31	"	3.5cm	バラ種子 Lサイズ	2万粒/袋=5～6袋	
	"	前27-後33	"	4.0cm	シーダーテープ	L・M粒 3cm L・M粒 3.5cm L・M粒 4cm 1巻き500mで、10a当たり8巻き	

## 5. 除草剤

農薬名	使用量(10a)	使用時期
レンザー	100～150g	残効が長い為、11月までに使用。後作にイネ科、ウリ科、アブラナ科をつくる場合は、6ヶ月影響あり。
ラソー乳剤	150ml	広葉雑草には、効果が劣る。
アージラン液剤	600～800ml	高温時薬害の恐れあり、10月20以降に使用し、砂質土での使用は不可。
ナブ乳剤	150～200ml	イネ科雑草の3～5葉期に使用する。ただし収穫7日前まで。

※ラベルをよく読み、使用時期、使用回数、使用方法を確認して使用しましょう！

## 6. 追肥

追肥は、播種時期や生育を考慮して行ってください。

播種時期	追肥回数	追肥の目安
9月・2月播種	0～1回	生育に応じて
10月上旬播種	1回	本葉展開時に1回
10月中旬以降播種	2回	本葉展開時と本葉5枚程度展開時

肥料名	施肥量(10a)
ニトロパワー503	20～40kg
過燐硝安マジョリカブルー	20～40kg
追肥716	20～40kg

## 7. 病虫害防除

病虫害名	薬剤名	使用基準		注意事項
		使用時期	使用回数	
べと病	レーバフロアブル	収穫3日前まで	2回以内	アリエッティ水和剤は、葉面散布材との混用は、薬害の恐れあり
	ランマンフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	
	アリエッティ水和剤	収穫前日まで	2回以内	
	ライメイフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	
苗立ち枯れ病	リゾレックス水和剤	播種時	1回	リゾクトニア菌 土壌灌中(3L/m <sup>2</sup> )
	パンタック水和剤75	播種時～子葉展開時	1回	リゾクトニア菌 土壌灌中(3L/m <sup>2</sup> )
	モンカット水和剤50	播種直後	1回	
株腐病・立ち枯れ病 萎凋病	バスアミド微粒剤	播種21日前まで	1回	土壌消毒剤:土壌混和後、ビニールで被覆。2回以上ガス抜きを行ってから播種をしてください。
害虫名				
アブラムシ類    アザミウマ類    ヨトウムシ    ハモグリバエ    ハダニ    コナダニ類				
	ネマモール粒剤30	播種前まで	1回	○
	ダイアジノン粒剤5	播種時	1回	ヒメクロユスリカ タネバエ 等
	アグロスリン乳剤	収穫21日前まで	5回以内	○ ミナミキイロ ○
	ダニロンフロアブル	収穫21日前まで	1回	○
	モスピラン水溶剤	収穫14日前まで	2回以内	○
	ランネット75DF	収穫14日前まで	4回以内	○ ミナミキイロ ○
	ノーモルト乳剤	収穫7日前まで	2回以内	○
	アフーム乳剤	収穫3日前まで	2回以内	ハスモン
	カスケード乳剤	収穫3日前まで	3回以内	ハスモン    マメ
	アドマイヤーフロアブル	収穫前日まで	2回以内	○    ネギアザミ
	プレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	ハスモン

黄化症対策	発生原因		対策	
	湿害	ウイルス	発生原因	対策
	・土作り(堆肥、飼料作物) ・排水対策、心土破碎 ・抵抗性品種選定 ・サンソーネ1000倍 または、MPB1000倍散布			アブラムシの徹底防除(幼苗期) アブラムシの早期発見・早期防除 発生株は抜き取り焼却 ほ場周辺の雑草防除